

【総括表】

部局(庁)名	観光文化スポーツ部
--------	-----------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（オートキャンプ場）

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	八幡平オートキャンプ場	鹿角市	廃止	H28.4.1 用途廃止（施設残存）
2	男鹿オートキャンプ場	男鹿市	存続	機能維持のための修繕を実施
3	宮沢海岸オートキャンプ場	男鹿市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
4	由利高原オートキャンプ場	由利本荘市	廃止	廃止に向けた検討を実施（施設残存）
5	田沢湖オートキャンプ場	仙北市	存続	機能維持のための修繕を実施
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

- (1) 施設の存続
- 点検・診断により劣化・損傷等が認められるなど（見込みも含む）緊急性の高い施設
 - 利用需要の継続した実績及び今後の見込みがあり、必需性の高い施設
- などは利用者の安全確保を第一に考え修繕等を実施
- (2) 施設の廃止
- 老朽化が著しく、事故防止の観点から安全確保に支障がある施設
 - 利用者が少なく、今後も増加が見込めない施設
- などは廃止した上で除却処分等を実施

【個別票】

1	施設名	八幡平オートキャンプ場
---	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	八幡平オートキャンプ場	所在地	鹿角市八幡平字切留平
施設面積	2,395.08 m ²	建設年	H4
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	台帳価格	270,545,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	廃止	H28.4.1 用途廃止（施設残存）
「基本的な方針の考え方」 ・利活用策を募集したが、いずれも県の設備投資が多額に上ること等から、提案の実現は、事実上難しいものと判断した。 ・当面の間、施設は存続し、適切な時期に解体除却する。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・利活用策の募集（平成27、28年度）を実施済

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【平成34年頃に除却】

・起債の償還が終わる平成34年頃までに除却するよう手続きを進める。

4 管理上の課題等

・機能は廃止しているものの管理棟などの施設は残存しているため、事故防止等に努める必要がある。
--

5 管理に関する実施方針

- ・地元関係機関の協力を得ながら定期的にパトロール等を実施する。

6 管理に関する実施計画

八幡平オートキャンプ場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	572	327	—	
運用コスト	1,503	1,011	—	
修繕コスト	552	0	—	
その他				
(合計)	2,627	1,338	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	4,251	3,558	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,329	2,059	—	

【個別票】

2	施設名	男鹿オートキャンプ場
---	-----	------------

1 施設の概要

施設名称	男鹿オートキャンプ場	所在地	男鹿市北浦北浦字平岱山
施設面積	1,308.91 m ²	建設年	H11
構造・階数	木造・2階	台帳価格	101,514,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けており、計画的な修繕を実施する。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・男鹿市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

・建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。 ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。 ・目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっては建替えを実施せず、将来的に廃止とする。
--

4 管理上の課題等

・現状において施設の安全性に支障はないが、施設及び設備の老朽化が進んでいる。
--

5 管理に関する実施方針

・点検・診断により劣化・損傷等が認められるなど（見込みも含む）緊急性の高い施設であり、今後も利用需要が見込まれる施設であることから修繕等を実施する。
※平成26年度高圧気中開閉器を交換

6 管理に関する実施計画

男鹿オートキャンプ場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	506	514	482	
運用コスト	1,933	2,388	1,937	
修繕コスト	332	1,011	500	26高圧気中開閉器更新550
その他				
(合計)	2,771	3,913	2,919	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	10,244	10,311	10,665	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,774	6,041	6,041	

【個別票】

3	施設名	宮沢海岸オートキャンプ場
---	-----	--------------

1 施設の概要

施設名称	宮沢海岸オートキャンプ場	所在地	男鹿市野石字大場沢下
施設面積	314.67 m ²	建設年	H12
構造・階数	木造・2階	台帳価格	18,527,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県外からの利用が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けていることから民間等への譲渡を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・男鹿市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【今後10年程度使用】

・建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。 ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。 ・民間等への譲渡を検討し、譲渡できない場合にあっては建替えを実施せず、将来的に廃止とする。
--

4 管理上の課題等

・現状において施設の安全性に支障はないが、施設及び設備の老朽化が進んでいる。
--

5 管理に関する実施方針

・点検・診断により劣化・損傷等が認められるなど（見込みも含む）緊急性の高い施設であり、今後も利用需要が見込まれる施設であることから修繕等を実施する。
※平成27年度高圧気中開閉器を交換

6 管理に関する実施計画

宮沢海岸オートキャンプ場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	415	427	427	
運用コスト	410	451	423	
修繕コスト	30	0	694	27高圧気中開閉器更新608
その他				
(合計)	855	878	1,544	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	3,477	3,027	3,452	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,428	2,108	2,344	

【個別票】

4	施設名	由利高原オートキャンプ場
---	-----	--------------

1 施設の概要

施設名称	由利高原オートキャンプ場	所在地	由利本荘市西沢字南由利原
施設面積	247.75 m ²	建設年	H3
構造・階数	木造・1階	台帳価格	5,800,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	廃止に向けた検討を実施（施設残存）
「基本的な方針の考え方」 ・施設が老朽化しているほか、近隣に類似施設があることから、今後、廃止に向けた検討を行う。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・由利本荘市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【平成33年頃に廃止】

・由利本荘市と廃止に向けた協議を行う。

4 管理上の課題等

・現状において施設の安全性に支障はないが、施設及び設備の老朽化が進んでいる。
--

5 管理に関する実施方針

- ・利用者等の安全確保に必要な修繕を行う。

6 管理に関する実施計画

由利高原オートキャンプ場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	165	180	180	
運用コスト	282	282	268	
修繕コスト	165	42	19	
その他				
(合計)	612	504	467	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	272	234	191	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	559	242	475	

【個別票】

5	施設名	田沢湖オートキャンプ場
---	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	田沢湖オートキャンプ場	所在地	仙北市田沢湖田沢字潟前
施設面積	367.07 m ²	建設年	H12
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	台帳価格	56,291,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県外からの利用が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けており、計画的な修繕を実施する。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・仙北市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【今後20年程度使用】

・建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。 ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。 ・目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっては建替えを実施せず、将来的に廃止とする。
--

4 管理上の課題等

・現状において施設の安全性に支障はないが、施設及び設備の老朽化が進んでいる。
--

5 管理に関する実施方針

・点検・診断により劣化・損傷等が認められるなど（見込みも含む）緊急性の高い施設であり、今後も利用需要が見込まれる施設であることから修繕等を実施する。
 ※平成25年度木柵改修及び平成26年度高圧気中開閉器を交換

6 管理に関する実施計画

田沢湖オートキャンプ場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	125	130	142	
運用コスト	931	818	966	
修繕コスト	538	627	54	25木柵改修538 26高圧気中開閉器更新573
その他				
(合計)	1,594	1,575	1,162	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	4,920	5,668	5,753	県所有分

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	4,766	5,414	5,585	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（大潟スポーツ宿泊センター）

1 施設の概要

施設名称	大潟スポーツ宿泊センター（サンルーラル大潟）	所在地	南秋田郡大潟村字北
施設面積	6,706.30 m ²	建設年	H8
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造・8階	台帳価格	1,053,614,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・大潟村に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっては建替えを実施せず、将来的に廃止とする。

4 管理上の課題等

- ・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大湯スポーツ宿泊センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	電気設備改修	7,903	
H30	外壁等改修	6,062	
H31	消防設備改修	17,784	
H31	ピット内配管改修	7,895	
H31	屋上部塗装改修	7,936	
H31	間接照明改修（1F大宴会場）	15,274	
H32	空調機器更新	140,778	
H34	昇降機改修	644	
H34	エレベーターホール照明改修	1,448	
H34	照明改修	4,019	
H35	内装改修	1,075	
H35	展望風呂改修	2,917	
H35	音響設備更新（1F大宴会場）	958	
H36	防災設備更新	22,080	
H37	畳更新	6,325	
H37	敷居改修	2,476	
H37	和室建具（襖）改修	820	
H37	床張改修	779	
H37	内装改修	14,857	
	（ 合 計 ）	262,030	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	12,023	9,764	10,270	
運用コスト	41,299	34,968	31,802	
修繕コスト	5,027	23,261	4,476	26自動火災報知設備更新 21,531
その他				
（合計）	58,349	67,993	46,548	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	140,617	140,860	138,713	県所有分

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	31,259	30,398	28,984	宿泊者数

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（秋の宮山荘）

1 施設の概要

施設名称	秋の宮山荘	所在地	湯沢市秋ノ宮字殿上
施設面積	4,936.16 m ²	建設年	H8
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	794,328,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・湯沢市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっては建替えを実施せず、将来的に廃止とする。

4 管理上の課題等

・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋の宮山荘に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	自動火災報知設備更新	18,146	
H29	冷温水発生機改修	15,473	
H30	電気設備改修	6,850	
H30	ポンプ類更新	7,415	
H31	屋根改修	28,080	
H33	音響設備改修	16,405	
H34	和室畳取替	4,892	
H36	自動食器洗浄機取替	4,084	
H37	外部建具交換	1,063	
H37	サウナ改修	739	
	(合 計)	103,147	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	7,727	7,287	6,620	
運用コスト	24,136	23,824	19,446	
修繕コスト	1,482	5,051	2,615	
その他				
(合計)	33,345	36,162	28,681	H27.12～H28.3休業

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	231,431	207,600	144,858	H27.12～H28.3休業

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	13,423	12,778	8,724	宿泊者数

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（鳥海観光宿泊センター）

1 施設の概要

施設名称	鳥海観光宿泊センター（フォレスト鳥海）	所在地	由利本荘市鳥海町猿倉字奥山前
施設面積	7,861.00 m ²	建設年	H8
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上5階地下1階	台帳価格	1,293,540,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・ 県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。 ・ 耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・ なし

※ 公民連携の検討について

・ 指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・ 由利本荘市に対し、意向調査を実施

※ 市町村協働の検討について

・ なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・ 建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・ 利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
- ・ 目標使用年数経過後の取扱は、民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を実施することとし、譲渡できない場合にあっては建替えを実施せず、将来的に廃止とする。

4 管理上の課題等

- ・ 設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

鳥海観光宿泊センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	自動火災報知設備更新	25,280	
H30	直流電源装置等更新	20,546	
H31	非常用発電機始動用蓄電池更新	3,674	
H31	外壁塗装改修	4,782	
H31	電気設備更新	9,877	
H31	浄化槽改修	10,696	
H31	冷暖房配管更新	22,188	
H31	電話構内交換機改修	9,642	
H32	中央監視装置等更新	23,770	
H32	消防設備更新	18,868	
H33	電気設備更新	21,446	
H33	非常放送設備更新	5,204	
H33	ポンプ類更新	25,358	
H34	空調設備改修	14,440	
H34	タンク類更新	29,818	
H34	厨房エアコン更新	638	
H35	客室棟内装改修	31,011	
H36	外壁改修	33,778	
H37	照明器具改修	23,268	
	(合 計)	334,284	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	24,462	24,124	25,071	
運用コスト	22,817	23,196	17,100	
修繕コスト	5,260	56,509	2,475	26冷温水発生機等更新54,211
その他				
(合計)	52,539	103,829	44,646	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	216,743	198,816	206,108	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	13,140	11,716	13,077	宿泊者数

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（十和田観光宿泊センター）

1 施設の概要

施設名称	十和田観光宿泊センター（十和田ホテル）	所在地	鹿角郡小坂町十和田湖字鉛山
施設面積	8,724.24 m ²	建設年	H10
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上3階地下1階	台帳価格	1,277,791,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・ 県外からの利用者が大半を占めており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。 ・ 耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・ なし

※ 公民連携の検討について

・ 指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・ なし

※ 市町村協働の検討について

・ なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・ 建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・ 利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
- ・ 目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・ 設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

十和田観光宿泊センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	冷却塔等更新	41,338	
H30	外壁等改修	6,660	
H31	ガス強制気化装置改修	2,359	
H32	空調機改修	12,764	
H32	厨房天井改修	3,251	
H32	宴会場 畳張替	2,406	
H35	カーペット張替	70,181	
H36	内装改修	55,016	
H37	ポンプ類更新	15,235	
	(合 計)	209,210	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	15,472	17,340	17,172	
運用コスト	23,380	24,184	21,806	
修繕コスト	32,770	2,951	21,028	25中央監視装置更新32,148 27冷温水発生機改修17,660
その他				
(合計)	71,622	44,475	60,006	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	208,807	216,480	211,344	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	12,327	13,447	13,055	宿泊者数

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（秋田ふるさと村）

1 施設の概要

施設名称	秋田ふるさと村	所在地	横手市赤坂字富ヶ沢
施設面積	18,167.05 m ²	建設年	H5
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上2階地下1階	台帳価格	2,897,416,006 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・年間60万人が利用しており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

秋田ふるさと村に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	直流電源装置等更新	11,950	
H30	ドーム劇場屋上防水改修	2,056	
H30	非常用照明修繕	5,402	
H31	ドーム劇場屋上防水改修	29,402	
H31	中央監視装置更新	30,881	
H31	郷土料理館屋根改修	17,865	
H32	給水ポンプユニット更新	26,318	
H32	エネルギー棟設備改修	27,371	
H32	自動火災報知器改修	53,140	
H33	ドーム劇場舞台設備改修	184,600	
H33	自動ドア装置改修	4,450	
H34	浄化槽改修	11,231	
H34	屋外排水路等改修	5,165	
H34	LPG消費プラント設備更新	3,753	
H34	ドーム劇場舞台設備改修	33,631	
H35	ITV設備改修	2,400	
H35	外壁改修	55,119	
H36	管理棟等屋根改修	29,366	
H36	空調設備更新	17,174	
H37	非常放送設備	30,774	
	(合 計)	582,048	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	108,259	106,730	107,686	
運用コスト	84,685	82,927	78,229	
修繕コスト	252,524	15,189	9,834	25遊具改修 20,952 25ﾌﾞﾗﾅﾘｳﾑ改修 114,285 25空調照明等改修113,604
その他				
(合計)	445,468	204,846	195,749	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	274,438	306,897	323,386	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	583,948	583,634	614,155	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（新玉川地区リゾート整備基盤施設）

1 施設の概要

施設名称	新玉川地区リゾート整備基盤施設	所在地	仙北市田沢湖玉川字柳沢
施設面積	1,086.15 m ²	建設年	H10
構造・階数	鉄筋コンクリート造・1階	台帳価格	561,471,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・新玉川地区へ上水道等を提供しており、施設の存続は必要不可欠である。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・新玉川地区へ上水道等を提供しており、施設の存続は必要不可欠である。

4 管理上の課題等

・給排水施設の修復については、(株)玉川サービスが県との覚書に基づき、費用の積立等を実施している。確実な費用の積み立てが課題である。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

新玉川地区リゾート整備基盤施設に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H37	屋根改修（多目的屋内広場）	13,509	
	（ 合 計 ）	13,509	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,111	6,111	6,111	
運用コスト	5,602	6,767	6,124	
修繕コスト	4,670	16,552	5,725	26転落防止柵等更新 14,582 27ガードパイプ更新5,725
その他				
（合計）	16,383	29,430	17,960	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(田沢湖スキー場)

1 施設の概要

施設名称	田沢湖スキー場	所在地	仙北市田沢湖生保内字下高野
施設面積	5,149.09 m ²	建設年	H9
構造・階数	鉄骨造・2階	台帳価格	407,149,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・FISフリースタイルワールドカップ等の各種大会に利用されている。今後、インバウンド対策に取り組む上で重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎えるリフト設備等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
・利用者等の安全確保を第一に考え、リフト設備等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

・リフト設備等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

田沢湖スキー場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	スキーセンター改修及びラウンジ新設	303,296	平成28年度繰越
H29	銀嶺クワッドリフト等索受装置改修	24,192	
H29	かもしかクワッドリフト索受装置改修	5,832	
H30	かもしかクワッドリフト索受装置改修	5,184	
H30	銀嶺クワッドリフト搬器改修	43,200	
H31	銀嶺第3ロマンスリフト制動装置、油圧緊張装置改修	9,072	
H31	銀嶺第1ロマンスリフト減速機、電動機、滑車等改修	21,600	
H31	かもしかクワッドリフト搬器更新	21,600	
H32	銀嶺クワッドリフト油圧緊張装置改修	7,992	
H32	銀嶺クワッドリフト制動装置改修	6,912	
H32	ワイヤーロープ改修	78,300	
H33	銀嶺クワッドリフト搬器更新	137,600	
H34	レストハウス耐震改修	74,733	
H35	スキーセンター耐震改修	49,620	
H35	屋根防水改修	29,411	
H36	銀嶺クワッドリフト搬器更新	43,200	
H36	銀嶺第1ロマンスリフト減速機、電動機、滑車等改修	21,600	
H37	かもしかクワッドリフト索受装置改修	43,200	
H37	銀嶺クワッドリフト搬器更新	5,000	
	(合 計)	931,544	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税抜)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,689	2,770	3,414	
運用コスト	24,307	21,606	18,044	
修繕コスト	53,686	43,960	57,238	25年度改修 44,401 26年度改修 34,800 27年度改修 49,453
その他				
(合計)	80,682	68,336	78,696	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	147,388	147,077	133,144	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	98,030	100,039	86,441	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（男鹿水族館）

1 施設の概要

施設名称	男鹿水族館	所在地	男鹿市戸賀塩浜字壺ヶ沢
施設面積	8,968.75 m ²	建設年	H16
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上3階地下1階	台帳価格	1,845,505,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・年間20万人が利用しており、本県への誘客を支える重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器等を改修・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。

4 管理上の課題等

- ・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・「利用者等の安全確保に必要な整備」、「老朽化による必要な整備」の視点に基づき、改修・更新を実施している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

男鹿水族館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	取水ポンプ室防潮扉等更新	15,094	
H30	ブラインチラー設備等更新	30,871	
H31	コージェネレーション改修	17,172	
H31	搬入口防潮扉改修	8,291	
H31	ペンギン展示室等空調設備更新	26,325	
H31	外壁改修	5,127	
H31	冷温水発生機更新	111,865	
H32	直流電源装置蓄電池更新	10,749	
H32	電気室高圧遮断機、継電器改修	8,769	
H32	発電機保護継電器、制御盤改修	12,853	
H32	圧力式ろ過器改修	72,521	
H33	低圧ブロワ設備更新	5,975	
H33	圧力式ろ過器改修（男鹿の海大水槽）	8,947	
H33	ガスヒートポンプ改修	2,869	
H33	圧力式ろ過器改修	40,000	
H34	圧力式ろ過器改修	40,000	
H34	男鹿の海大水槽改修	24,348	
H35	飼育係循環ポンプ更新	121,240	
H35	二酸化炭素消火器更新	8,517	
H36	水槽シーリング改修	34,020	
H36	防潮扉更新	27,422	
H37	中央監視設備更新	52,222	
H37	ホッキョクグマ水槽改修	3,024	
H37	ホッキョクグマ観察室改修	951	
H37	屋根改修	6,598	
	（ 合 計 ）	695,770	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円、消費税抜）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	48,688	32,813	37,255	
運用コスト	87,165	83,663	73,202	
修繕コスト	18,875	6,517	34,497	27ウエットデッキ改修15,364 27空調機更新 6,650
その他				
（合計）	154,728	122,993	144,954	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	224,801	169,931	167,205	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	318,148	226,990	228,241	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(総合プール)

1 施設の概要

施設名称	総合プール	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	14,160.15 m ²	建設年	H12
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	5,522,327,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・全国規模の大会開催や国内トップ選手の合宿を受入可能な設備を有する県内唯一の施設であり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・吊り天井について既存不適格であるため改修が必要である。
- ・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・軒天井落下防止のための補強
- ・プール用水確保のための井戸設置
- ・既存不適格である吊り天井の改修
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

総合プールに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	軒天井補強、蓄電池交換	19,468	
H30	2号井戸設置	20,090	
H30	吊り天井改修工事 実施設計	8,581	
H30	排気ファン修繕	1,500	
H30	照明設備LED改修	68,564	
H31	吊り天井改修	428,446	
H31	濾過量水器更新	5,346	
H31	濾過制御装置修繕	12,698	濾過薬注ポンプ、濾過制御装置、濾過サンプリングポンプ、濾過ポンプ用ヒート弁交換
H32	中央監視装置更新	34,419	
H32	濾過水質監視装置更新	23,325	
H33	濾過装置濾材交換	37,800	
H34	冷却塔・空調機修繕	7,200	
H35	熱交換器修繕	12,160	
H36	ろ過水質監視装置更新	19,440	
H37	メインプール床滑り止め修繕	2,160	
	(合 計)	701,197	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,827	3,048	2,799	
運用コスト	104,357	101,412	81,765	
修繕コスト	4,183	12,718	17,286	
その他				
(合計)	111,367	117,178	101,850	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	27,978	28,994	27,839	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	152,221	161,542	157,801	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(スケート場)

1 施設の概要

施設名称	スケート場	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	14,179.90 m ²	建設年	S46
構造・階数	鉄骨造・1階	台帳価格	227,956,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県内唯一のスケート場であり、アスリート育成及び競技力向上、また、冬季における貴重な運動・レクリエーション施設として位置付けている。 ・建物の耐用年数は経過しているが、耐震診断により健全性を確認しており、平成19年度に屋根改修、平成26年度に照明設備改修を実施している。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物について、大規模改修をしない場合の想定使用可能年数を目標使用年数とした。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・製氷設備について、平成32年以降、冷媒として使用しているフロンガスの生産が規制されるため、更新が必要である。
- ・その他の設備機器等についても耐用年数を迎えたため、計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・経年劣化のため污水管を更新
- ・フロンガス規制の伴う新たな冷凍機への設置
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

スケート場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	污水管更新	8,388	
H30	井戸掘削工事	34,090	
H30	冷凍機更新（実施設計、機器製作、仮設工事）	351,154	
H31	冷凍機更新（設計監理、機器設置工事）	169,156	
H32	冷却配管更新	7,108	
H33	床コンクリート修繕	177,704	
H34	ゴムフロア張り替え	1,674	
H37	サッシ取替	101,848	
	（ 合 計 ）	851,122	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円、消費税込）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,795	1,841	1,868	
運用コスト	30,578	25,593	18,337	
修繕コスト	1,573	52,511	7,815	26冷凍機修繕 19,872 26照明LED化 26,482
その他				
（合計）	33,946	79,945	28,020	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	40,626	36,493	35,646	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	78,348	69,398	67,224	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(武道館)

1 施設の概要

施設名称	武道館	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	18,744.00 m ²	建設年	H16
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	3,177,960,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県内唯一の総合的な武道競技施設であり、全国規模の大会の開催等によりスポーツによる交流人口の拡大を推進する施設であるほか、年間を通じた武道の競技力向上、武道を通じた青少年の健全育成に寄与する重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。

4 管理上の課題等

- ・吊り天井について既存不適格であるため改修が必要である。
- ・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・省エネルギー対策のための照明LED化
- ・非常用照明の蓄電池交換
- ・既存不適格である吊り天井の改修
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

武道館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	蓄電池交換、気中開閉器交換、照明設備改修	79,391	
H30	雨水排水管洗浄業務委託	800	
H30	トランス絶縁油交換業務委託	2,060	
H31	冷温水発生機修繕（3号機）	2,245	故障停止しているため追加
H32	吊り天井改修	336,355	
H35	空調フィルター交換	8,038	
H35	中央監視装置更新	48,535	
H36	冷温水機修繕	25,902	
H36	大道場床修繕	12,111	
	(合 計)	515,437	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	11,747	12,244	11,525	
運用コスト	32,866	33,265	29,408	
修繕コスト	754	2,431	2,719	
その他				
(合計)	45,367	47,940	43,652	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	14,937	14,506	13,759	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	230,362	225,945	230,598	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(体育館)

1 施設の概要

施設名称	体育館	所在地	秋田市八橋運動公園
施設面積	7,636.90 m ²	建設年	S43
構造・階数	鉄筋コンクリート造・3階	台帳価格	288,044,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	複合化(主)を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県内有数の観客席を有しており、全国規模の大会開催やコンサート、イベントの開催により交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。 ・建物の耐用年数は経過しているが、耐震診断により健全性を確認しており、平成26年度にトイレ洋式化改修、平成27年度に照明設備改修を実施している。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

- ・建替えのうえ、アリーナ機能の追加及びスポーツ科学センターとの複合化を検討する。

※ 公民連携の検討について

- ・指定管理者制度を導入済

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

- ・なし

※ 市町村協働の検討について

- ・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物について、大規模改修をしない場合の想定使用可能期間を今後10年以上とする。
- ・目標使用年数経過にあわせ、建替えを実施する。
- ・建替えまでは、利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等について最小限の計画的な修繕・更新を実施し、建物を維持する。

4 管理上の課題等

- ・耐用年数を迎える設備機器等について最小限の計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・経年劣化している避雷設備の修繕
- ・既存不適格である吊り天井の改修（建替時期を見極めた上で実施を検討）
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

体育館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	避雷設備修繕	2,262	
H31	空調設備改修工事	10,364	
H31	スプリンクラー設備修繕	7,560	
H33	吊り天井改修	293,543	
	(合 計)	313,729	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,241	6,581	6,771	
運用コスト	12,056	12,035	8,904	
修繕コスト	861	15,554	41,709	26トイレ洋式化 14,958 27照明LED化 39,800
その他				
(合計)	19,158	34,170	57,384	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	11,236	13,415	14,854	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	121,933	131,104	134,387	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（総合射撃場）

1 施設の概要

施設名称	総合射撃場	所在地	由利本荘市岩城道川字新田沢
施設面積	2,849.89 m ²	建設年	H7
構造・階数	鉄骨造・2階	台帳価格	238,761,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・ 県内で唯一競技大会が開催可能な施設であり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する施設であるほか、ジュニア選手の強化拠点としても重要な施設と位置付けている。 ・ 耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・ なし

※ 公民連携の検討について

・ 指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・ なし

※ 市町村協働の検討について

・ なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・ 建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・ 利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
- ・ 目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・ 指定射撃場として、ライフル射撃場の壁等の大規模修繕が必要である。
- ・ 設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。
- ・ 現在休業しているクレー射撃場については、再開について地元住民等との協議を継続する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・真空遮断器の交換
- ・指定射撃場として存続するため、ライフル射撃場の側壁等の修繕
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

総合射撃場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	真空遮断器交換	1,550	
H30	ライフル射撃場側壁修繕	28,294	
H30	飛散防止ネット実施設計	37,196	
H31	ライフル棟屋根・外壁防水塗装工事	27,300	
	(合 計)	94,340	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	797	820	820	
運用コスト	1,521	1,582	1,436	
修繕コスト	81	49	3,137	
その他				
(合計)	2,399	2,451	5,393	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	546	542	557	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,127	1,210	1,168	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(田沢湖スポーツセンター)

1 施設の概要

施設名称	田沢湖スポーツセンター	所在地	仙北市田沢湖生保内字下高野
施設面積	5,421.73 m ²	建設年	H18
構造・階数	鉄骨造・3階	台帳価格	716,885,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・体育館、サッカー・ラグビー・陸上競技場等を併設し、県外からも合宿を受け入れている施設であり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。

4 管理上の課題等

- ・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・経年劣化による腐食が進んでいる浴室壁や給水設備の修繕・交換
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

田沢湖スポーツセンターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	浴室壁等改修	8,494	
H34	空調設備更新	18,175	
H35	体育館屋根・外壁改修	50,700	
H36	宿泊棟外壁改修	46,900	
	(合 計)	124,269	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,571	1,905	2,315	
運用コスト	18,200	17,477	15,463	
修繕コスト	1,883	2,491	2,035	
その他			91,022	27陸上競技場トイレ整備 13,262 27ジャッジハウス整備 77,760
(合計)	22,654	21,873	110,835	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	48,713	45,342	48,391	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	38,700	36,591	39,313	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(スポーツ科学センター)

1 施設の概要

施設名称	スポーツ科学センター	所在地	秋田市八橋運動公園
施設面積	6,506.79 m ²	建設年	S54
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上4階地下1階	台帳価格	397,703,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	複合化(従)を実施
「基本的な方針の考え方」 ・秋田県スポーツ推進計画に基づき、スポーツ指導者の養成並びにスポーツに関する研修及び医学的研究を行うことによりスポーツの普及振興及び競技力向上を図る重要な施設と位置付けている。 ・今後、体育館(10年程度を目途に建替えを実施予定)との複合化(従)を検討する。		

※ 集約・複合化の検討について

- ・今後、体育館(10年程度を目途に建替えを実施予定)との複合化(従)を検討する

※ 公民連携の検討について

- ・なし

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

- ・なし

※ 市町村協働の検討について

- ・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物について、大規模改修をしない場合の想定使用可能期間を今後10年程度とした。
- ・複合化(従)となった場合の建物の扱いについては、今後検討する。
- ・目標使用年数経過までは、利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等について最小限の計画的な修繕・更新を実施し、建物を維持する。

4 管理上の課題等

- ・吊り天井について既存不適格であるため改修が必要である
- ・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・既存不適格である吊り天井の改修
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

スポーツ科学センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	吊り天井改修	41,366	
H31	排水配管更新	2,222	
H34	耐震改修	4,672	
	(合 計)	48,260	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,139	4,239	4,101	
運用コスト	7,713	7,650	6,875	
修繕コスト	1,754	1,695	199,580	27大規模機械設備改修 198,337
その他			31,500	27太陽光発電設置 31,500
(合計)	13,606	13,584	242,056	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	6,336	7,046	7,222	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	54,084	54,008	52,628	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(能代山本スポーツリゾートセンター)

1 施設の概要

施設名称	能代山本スポーツリゾートセンター	所在地	能代市落合字下台
施設面積	9,013.70 m ²	建設年	H7
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	1,426,577,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

- ・各種スポーツ大会を開催しているほか、スポーツ合宿を受け入れており、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。
- ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。
- ・民間等へ譲渡を進めるが、譲渡できない場合にあっては建替えを実施しない。

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

- ・能代山本広域市町村圏組合に対し意向調査を実施している。今後は譲渡に向けた条件についての具体的な協議を行う。

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
- ・民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を進めることとし、譲渡できない場合にあっては建替えを実施しない。

4 管理上の課題等

- ・プール設備について大規模修繕が必要である。
- ・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・経年劣化のため効率が低下しているプール濾過装置の濾材交換及びポンプの修繕
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

能代山本スポーツリゾートセンターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	自家発電用蓄電池交換	1,600	
H31	昇温循環ポンプ修繕	2,344	
H32	直流電源装置修繕	5,216	
H33	プールろ過装置改修	7,214	
	(合 計)	16,374	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	6,867	9,963	10,196	
運用コスト	45,823	51,424	44,958	
修繕コスト	4,880	4,755	7,140	
その他				
(合計)	57,570	66,142	62,294	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	139,074	147,840	145,315	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	179,355	201,058	206,779	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(大館地区多目的ドーム)

1 施設の概要

施設名称	大館地区多目的ドーム	所在地	大館市上代野字稲荷台
施設面積	23,515.39 m ²	建設年	H9
構造・階数	R C 造(一部木造)・2階	台帳価格	4,230,193,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

- ・各種スポーツ大会を開催しているほか、県外からの利用もあり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。
- ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。
- ・民間等へ譲渡を進めるが、譲渡できない場合にあっては建替えを実施しない。

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

- ・大館市に対し意向調査を実施している。今後は譲渡に向けた条件についての具体的な協議を行う。

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
- ・民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を進めることとし、譲渡できない場合にあっては建替を実施しない。

4 管理上の課題等

- ・膜屋根及び電気設備について大規模修繕が必要である。
- ・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・経年劣化により不作動の恐れがある電気設備の交換・修繕
- ・雨や雪の影響により破損している外部柱の修繕
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

大館地区多目的ドームに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	受電設備修繕	8,892	
H30	発電機修繕	14,600	
H30	照明灯設備改修	25,165	
H30	ボイラー内水管群交換修繕	10,411	
H31	膜屋根修繕	16,740	
H32	膜屋根点検用フック交換修繕	12,312	
H34	電波障害設備撤去	12,000	
	(合 計)	100,120	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	10,844	12,637	12,643	
運用コスト	28,726	31,153	26,237	
修繕コスト	16,283	14,627	38,730	H25年 雑用水設備更新 (12,303円) H27年 中央監視装置更新 (17,167円) H27年 外部柱修繕 (11,069円)
その他				
(合計)	55,853	58,417	77,610	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	18,103	31,284	23,356	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	278,315	296,427	298,810	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(向浜運動広場)

1 施設の概要

施設名称	向浜運動広場	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	544.29 m ²	建設年	S55
構造・階数	鉄骨造・2階	台帳価格	19,447,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅳ型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・テニスコートは、野球場及びスケート場とともに、向浜総合スポーツゾーンを形成する施設であり、対象となるテニスコート倉庫兼観客席は、住民が主体的に参加できる地域スポーツ施設を維持する施設と位置付けている。 ・建物については耐用年数を経過しているが、部分修繕により存続させており、今後は必要最小限の修繕を行い、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、必要最小限の修繕を行い、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

・なし

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・省エネルギー対策のため照明LED化
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

向浜運動広場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	駐車場補修	11,373	駐車場は野球場・プールと共用
	(合 計)	11,373	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	113	112	54	
運用コスト	72	83	81	電気料金は野球場に含む
修繕コスト	50	73	80	
その他				
(合計)	235	268	215	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	2,917	3,231	3,423	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	37,254	36,710	39,081	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(新屋運動広場)

1 施設の概要

施設名称	新屋運動広場	所在地	秋田市豊岩石田坂字館野
施設面積	259.50 m ²	建設年	H元
構造・階数	鉄骨造・2階	台帳価格	5,486,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県内トップスポーツチームの練習場として使用されているほか、子供から高齢者まで生涯スポーツの拠点として重要な施設と位置付けている。 ・建物については耐用年数を経過しているが、部分修繕により存続させており、耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物について、大規模改修を実施しない場合の使用可能年数を目標とした。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・経年劣化のため不作動の恐れがある受電設備の修繕
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

新屋運動広場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	受電設備修繕	3,084	
H31	トイレ洋式化及び浄化槽改修工事	4,319	
H31	監視塔及び物置撤去工事	1,174	
H32	空調設備改修工事	2,030	
	(合 計)	10,607	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	405	417	417	
運用コスト	4,418	3,262	2,956	
修繕コスト	892	1,711	95	
その他				
(合計)	5,715	5,390	3,468	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	837	627	688	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	11,711	17,143	18,749	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(野球場)

1 施設の概要

施設名称	野球場	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	5,666.51 m ²	建設年	H15
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	3,225,353,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・県内で唯一プロ野球開催可能なナイター照明設備を有しているほか、県内における主要な大会を開催しており、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。 ・建物については、平成29年度に観客席膜屋根鉄骨改修、付属設備についても同年度にナイター照明塔及びグラウンド改修実施予定。 ・耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

- ・潮風の影響により金属部分は通常より早く錆・腐食が生じるためきめ細かな点検が必要である。
- ・設備機器等が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・経年劣化により利用に支障が生じている膜屋根、照明、グラウンドの大規模改修
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

野球場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	膜屋根改修、照明改修及びグラウンド改修等	1,153,438	
H30	自動火災報知設備更新	909	
H33	新井戸設置	11,764	
H34	スコアボード更新	297,601	
	(合 計)	1,463,712	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,077	2,781	2,577	
運用コスト	16,026	16,765	16,613	
修繕コスト	16,159	1,689	12,120	25スピーカー更新 15,645 27スコアボード設備更新 10,768
その他				
(合計)	35,262	21,235	31,310	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	9,124	9,125	9,117	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	132,939	151,479	132,831	

【個別票】

部局(庁)名	観光文化スポーツ部
--------	-----------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(大潟漕艇場)

1 施設の概要

施設名称	大潟漕艇場	所在地	南秋田郡大潟村字方上
施設面積	— m ²	建設年	H18
構造・階数	木造・1階	台帳価格	— 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
「基本的な方針の考え方」		
・平成28年度に大潟村へ事業の継続を伴う譲渡を実施		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・平成28年度に大潟村へ事業の継続を伴う譲渡を実施

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【平成28年度内に譲渡】

・なし

4 管理上の課題等

・なし

5 管理に関する実施方針

・なし

6 管理に関する実施計画

大潟漕艇場に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	52	14	14	
修繕コスト	0	0	0	
その他				
(合計)	52	14	14	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	—	—	—	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(鹿角トレーニングセンター)

1 施設の概要

施設名称	鹿角トレーニングセンター	所在地	鹿角市花輪字百合沢
施設面積	6,848.98 m ²	建設年	H7
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上4階	台帳価格	1,430,556,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 - 各種スポーツ大会を開催しているほか、県外からの利用もあり、スポーツによる交流人口の拡大を推進する重要な施設と位置付けている。 - 耐用年数を迎える設備機器類を修繕・更新し、存続とする。 - 民間等へ譲渡を進めるが、譲渡できない場合にあっては建替えを実施しない。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・なし

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・鹿角市に対し意向調査を実施している。今後は付属構築物であるジャンプ台等を含め、譲渡に向けた条件についての具体的な協議を行う。

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。

・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に修繕・更新し、施設を維持する。

・民間サービスへの代替性が高いことから、民間等への譲渡を進めることとし、譲渡できない場合にあっては建替を実施しない。

4 管理上の課題等

・建物と一体で管理している構築物（ジャンプ台）について改修が必要である。

・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的な修繕・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・安全安心な利用の促進を第一に、施設運営や大会開催に支障がないよう修繕等を実施する。
- ・基礎の亀裂が生じているジャンプ台の改修
- ・経年劣化のためジャンプ台滑走路の更新
- ・既存不適格である吊り天井の改修
- ・躯体保護のための屋外防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

鹿角トレーニングセンターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	ジャンプ台基礎調査・改修設計、吊り天井改修	90,391	
H31	ジャンプ台滑走路の改修	271,508	
H33	非常放送設備更新	5,256	
H34	照明設備改修	15,682	
	(合 計)	382,837	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	21,731	21,104	21,104	
運用コスト	33,154	30,900	26,987	
修繕コスト	5,604	3,161	23,858	27屋根雪害復旧 13,824
その他				
(合計)	60,489	55,165	71,949	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	45,698	53,984	58,279	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	69,867	71,685	146,597	

部局(庁)名	観光文化スポーツ部
--------	-----------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（総合食品研究センター）

1 施設の概要

施設名称	総合食品研究センター	所在地	秋田市新屋町字砂奴寄
施設面積	7,570.64 m ²	建設年	H7
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	1,088,524,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・当該施設は目標使用年数60年の想定建物であり、21年目の平成28年に以下の大規模修繕を実施した。 ・すなわち、設備では冷暖房設備、受変電設備、照明LED化、電話交換機、警備システムの更新および相談機能と研究機能の再編に伴う建物レイアウト変更である。 ・29年度以降についても冷凍庫、冷蔵庫、恒温室などプレハブ式温度調節施設の適正化とクーリングタワー（熱交換ユニット）更新などを予定しており、今後少なくとも20年程度は建物については大規模な修繕を行う必要なく運営できると考えられる。		

※ 集約・複合化の検討について

- ・すでに28年度に大規模修繕を実施し、29年度以降も修繕を行うことで研究機関としての機能を果せることから集約等については検討しない。

※ 公民連携の検討について

- ・県内食品事業者への技術支援や食品関係試験研究を設置目的としており、指定管理者制度やアウトソーシングについてはなじまない。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

- ・建物、施設の譲渡（一部を含む）の対象ではない。

※ 市町村協働の検討について

- ・市町村協働の対象となる機能は存在しない。

3 目標使用年数 【 目標使用年数60年 】

- ・当該施設は、目標使用年数60年を想定する建物であり長寿命化対策の適宜実施により今後40年以上は使用できると考えている。

4 管理上の課題等

- ・平成28年度の大規模修繕で空調の中央熱源方式が分散方式に改装、電気、警備、電話設備なども更新され、29年度以降のプレハブ式温度調節施設の適正化とクーリングタワー（熱交換ユニット）更新などがなされれば施設設備上は今後20年は大きな問題は生じない。
- ・建物のシール（屋上防水あるいは壁面あるいは開口部窓など）など経年劣化による建物修繕は今後とも発生することが予想され、計画的な修繕を実施していきたい。

5 管理に関する実施方針

- ・平成28年度の大規模修繕によりセンター主要部については、ほぼ機能更新を実施した。
- ・引き続き29年度以降にプレハブ式冷凍冷蔵施設（熱交換ユニット含む）とドラフトチャンバー（実験用局所排気装置）の更新を実施し、今後20年以上大規模修繕を行わずともセンターの機能は維持できるものと判断している。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

総合食品研究センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	プレハブ冷凍冷蔵庫の更新	24,933	
H30	プレハブ冷凍冷蔵庫の更新	70,552	
H31	ドラフトチャンバーの更新	14,000	スクラバー設備の廃止
	(合 計)	109,485	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	16,607	16,844	16,990	
運用コスト	24,532	25,604	23,981	
修繕コスト	4,038	5,976	5,258	
その他	132	175	273	
(合計)	45,309	48,599	46,502	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	1,873	1,365	21	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,942	1,686	1,524	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（県民会館）

1 施設の概要

施設名称	県民会館	所在地	秋田市千秋明徳町
施設面積	9,304.61 m ²	建設年	S36
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上4階地下1階	台帳価格	275,484,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	集約化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 人口減少を見据えた施設の集約化や財政面での負担軽減などから、県と秋田市が協働で秋田県民会館と秋田市文化会館を一つに集約する県・市連携文化施設の整備を進めている。		

※ 集約・複合化の検討について

- 県と秋田市が協働で秋田県民会館と秋田市文化会館を一つに集約する県・市連携文化施設の整備を進めている。

※ 公民連携の検討について

- 指定管理者制度を導入済
- 県・市連携文化施設における指定管理者制度については、運営管理計画の中で方針を整理することとしている。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

- なし

※ 市町村協働の検討について

- 県・市協働プロジェクトとして、平成33年度の開館を目標とした県・市連携文化施設の整備を進め、施設の運営管理も共同で行うことを検討している。

3 目標使用年数 【平成30年度に除却予定】

- 現在の施設は平成30年度に除却し、平成33年度中の県・市連携文化施設開館を目標とした整備を進めている。

4 管理上の課題等

- 設備機器が耐用年数を経過し、不具合が生じている。
- 舞台、ホワイエ、搬入口が狭く、トイレ、楽屋も少ないなど利用者から改善要望が多い。

5 管理に関する実施方針

・なし

6 管理に関する実施計画

県民会館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	基本設計等	288,400	
H30	解体費、実施設計費等	2,132,480	補償費等含む
H31～33	建設費等	20,679,120	
	(合 計)	23,100,000	県及び秋田市の負担合計額

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	4,404	4,519	4,595	
運用コスト	24,371	23,491	22,483	
修繕コスト	2,975	5,507	1,904	
その他	0	0	0	
(合計)	31,750	33,517	28,982	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	51,871	55,803	52,236	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	276,066	290,410	281,094	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（総合生活文化会館）

1 施設の概要

施設名称	総合生活文化会館（アトリオン）	所在地	秋田市中通
施設面積	13,375.15 m ²	建設年	H元
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上12階地下3階	台帳価格	1,573,356,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 ・国内でも最高水準の音響条件を備えた音楽ホールを有し、芸術文化や観光スポットとして県民に親しまれているほか、地域の産業・生活・文化に渡り広く活動が行われる複合的機能を持つ拠点施設であるため、存続とする。		

※ 集約・複合化の検討について

・なし

※ 公民連携の検討について

・指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・なし

※ 市町村協働の検討について

・なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・平成29年度に共用部の長期修繕計画（10年間）を策定したうえで、計画的な改修・更新し、施設を維持する。

4 管理上の課題等

- ・設備機器が耐用年数を経過しているため、今後も計画的な改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・施設利用者の安全を確保するとともに、資産を保全するため修繕工事等を実施する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装等の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

総合生活文化会館（アトリオン・共用部）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	自家発電設備等改修	45,089	
30	空調機自動制御設備修繕 等	31,676	
31	受変電設備の改修、エレベーター改修 等	40,000	
32	受変電設備の改修、エレベーター改修 等	40,000	
33	受変電設備の改修、音楽ホール吊り天井改修 等	96,897	天井改修56,897
34	受変電設備の改修、エレベーター改修 等	40,000	
35	受変電設備の改修、エレベーター改修 等	40,000	
36	受変電設備の改修、エレベーター改修 等	40,000	
37	受変電設備の改修、エレベーター改修 等	40,000	
	(合 計)	413,662	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円、消費税込)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	48,925	64,202	64,226	
運用コスト	54,962	61,263	57,203	
修繕コスト	51,474	63,341	68,553	25熱源改修 30,499 26熱源改修 41,544 27熱源改修 45,850
その他	0	0	0	
(合計)	155,361	188,806	189,982	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	43,161	43,469	43,996	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	278,275	332,725	276,228	